

大野山～湯本平～不老山

山行日：2016.1.31 単独 天候：晴れのち曇り

コース：谷峨駅/7:40—大野山/9:55—湯本平/11:00—番ヶ平/13:10—不老山/13:50
—生土国境尾根—登山道入口/15:40—駿河小山駅/16:10



大野山は会山行で1回来たのみ
谷峨からのコースは初めてでワクワクする



道路をジグザグに歩いてゆくコース
登り始めてすぐのヘアピンカーブ地点
から畑地の踏み跡をショートカットし
更にショートカットし真楽寺から上の
林道へ



結果的に最初ショートカットした道路下に登山道入り口
があったのだが、気付かず直進していたのだった。



当然大野山へのコースは他に
あるのだから登山道入口の標識も
あると勝手に思い込み先へ・・・
新しく公園を整備している脇に
細い林道があり、方向的にこちらだ
が道標が見当たらず先へ行く



地藏堂を過ぎ都夫良野集会所そして下り坂となりおかしい？、直進しすぎていると判断し引き返す先ほどの公園整備三叉路へ、40分のロスタイム



林道わきから丁度、晴れてきて富士山が見えていた、手前の山並みは不老山国境尾根大野山から一旦降り立ち不老山へ登り返して、あの尾根を降りる予定のコースだ





ロスタイムを入れても予定時刻の 10 時に大野山に到着。一人のハイカーが休憩中
右下眼下に丹沢湖が、目指す不老山はガスの中



湯本平への林道は残雪に足を取られながら慎重に



晴れて日差しがあったのは
富士山を望めたほんの一時のみだった

湯本平集落から少しバス通りを歩いて
コンクリート製の吊橋を渡る

いよいよ高度差 700m の直登の始まり





高度が上がり植林帯ではズボ足の苦勞の連続、両足が攣ってしまいしばし休憩



かろうじて霧氷らしきものが



結構な吹き溜まりの尾根道を行く

日差しが差し込む不老山山頂のみは残雪が少ない

前不老山から国境尾根を駿河小山へ向かう





懐かしい岩田翁の道標は健在だった



一般ルートではないので
登山者向けの道標はなく
これがあると安心



しかし一般ルートではないので道標は一切なし

賑やかな案内板が相変わらず見られるが、これだけ
見せつけられると多少騒々しく感じてしまうか・・・





不老山エリアでは誰にも遭遇せず

登山道入り口の案内はこれのみ
見落とすと生土林道に行くことに



予定時刻の 16 時過ぎに
駿河小山に辿り着く